

ダムによらない治水を

河川整備計画 流域被災者が語る会 意見募集受け

川辺川に計画される「球磨川水系河川整備
流水型ダムを加えた計画（原案）」の意見募



被災者の報告に耳を傾ける参加者

集に向け、被災者によ
るダム反対の声を上げ
ようと、川辺川現地調
査実行委員会の「ダム
によらない治水を語る
会」がこのほど、人吉
市老神町の新町会館で
開かれた。

国、県が令和2年7
月豪雨で住民無視の治
水計画を進めていると
して、被災者が望む「ダ
ムによらない治水対
策」について意見を
出したもの。

語る会では相良村、
人吉市、球磨村、八代
市の球磨川流域で実際
に被災した人たちが報
告。約60人が出席し、

主催者が映し出した地
図上に意見を落とし込
んだ。

球磨村渡の球磨川と
小川の合流地点にある
島田地区で被災した市
花由紀子さんは「ダム
を造れば支流のバック

ウォーター減少を抑え
られるというが、予想
できない雨量では間に
合わない。それに河床
に土砂がたまっただま
では、またあふれる。
ダムよりも氾濫した支
流の治山が必要。ダム

前提の計画のために貴
重な平地に住めなくな
り、誰のための復興な
のか疑問や不信感を持
つ」と述べた。

国土交通省と県は、
原案に対する意見募集
として、ホームページ

で、郵送、流域12市町
村に設けた意見箱への
投函の方法をとってい
る。期間は5月6日ま
で。